

2019年度 自己点検・評価 全学的課題事項について

◎はとりまとめ組織 ○は検討・連携組織

基準	評価項目	2019年度 全学的課題事項	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準4】 教育課程・ 学習成果	(教学部) ■評価項目No.403 教育課程編成・実施の方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	例えば、カリキュラムチェックリストや科目ナンバリングの導入など、個々の授業科目の順次性・体系性等を確認する体制を構築する必要がある。【努力課題】	◎教学部 ○教養教育センター	2013年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、教学部と関係組織が連携して、改善に取り組む。なお、科目ナンバリングについては、導入の適切性を含め検討する。
【基準5】 学生の 受け入れ	(教学部) ■評価項目No.503 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	大学院学内進学奨励給付奨学金(予約採用型)の効果検証や選考方法等の改善を行うとともに、学内進学の促進という目的に適した奨学金であるかどうか、その妥当性を検証する。本課題は、2016年度から検討が開始されていることから、検証に際しては期限を区切って実施する必要がある。【努力課題】	◎教学部 ○各研究科 ○学生部	大学院学内進学奨励給付奨学金(予約採用型)について、関係機関が連携して効果検証、選考方法等の改善を行う。併せて、目的に照らし、その妥当性についても検証を行う。なお、検証に際しては期限を区切って実施することとする。
		修士・博士課程は、依然として収容定員の未充足状態が続いているので、報告書「大学院改革に向けた検討について(報告)」に基づく大学院改革の推進等の改善が求められる。【努力課題】	◎教学部 (各研究科)	2011年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。大学院教学会議、全学教学政策会議等を中心に、関係組織が連携して、大学院改革に取り組む。
【基準6】 教員・教員組織	(教学部) ■評価項目No.603 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	昇任人事に関しては、各学部によって昇任に要する年限や審査委員会の構成方法、審査の方法に違いがある。各学部、関係組織と連携し、学部長会を中心に検討を進め、各学部の「教員人事規程」を平準化するよう改善されたい。なお、教養教育科目、教職課程科目、学部共通コース科目を主たる担当科目とする教員等は、所属学部によって異なる基準と手続きに則らなければならないことを含め、検討すること。【努力課題】	◎教学部 ○各学部 ○学部共通コース ○教養教育センター	教員の昇任人事に関して、各学部、関係組織と連携し、学部長会を中心に検討を進め、各学部の「教員人事規程」の平準化に向け改善を行う。なお、その際、教養教育科目、教職課程科目、学部共通コース科目を主たる担当科目とする教員が、所属学部によって異なる基準と手続きに則らなければならないことを含め検討することとする。